

第Ⅳ部 調査結果の詳細

【報告書を読む際の注意】

- (注1) 小数第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。
- (注2) 「n」は「number of case」の略で、質問に対する回答者の総数を表す。
- (注3) 図中「0」、表中「-」は皆無を示す。
- (注4) 図表中の選択肢は、回答率の高い順に並び替えている場合がある。また、表記の語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (注5) 《 》は、2つ以上の選択肢を合わせて分析する場合に用いる。また、この場合の比率は実際の回答者数の合計から算出しているため、個々の比率の単純な合計とは値が異なる場合がある。
- (注6) 数値間の比較で大小関係を示す場合は、個々の選択肢の比率の差を取り、「…ポイントの差」という表現を使っている。
- (注7) 男女の18～19歳などのサンプル数の少ない属性については参考値であり、グラフ上で数値が高いものでも有意差がなく、分析で触れていない場合がある。
- (注8) 【地域別の状況】【性・年代別の状況】の図表では、地域や性・年代が不詳の者がいるため、内訳の合計が全体の回答者数と異なっている。
- (注9) 集計結果の一部について、精査の結果、速報と数値が異なる項目がある。

第1章 環境に配慮した生活【問1～問5】

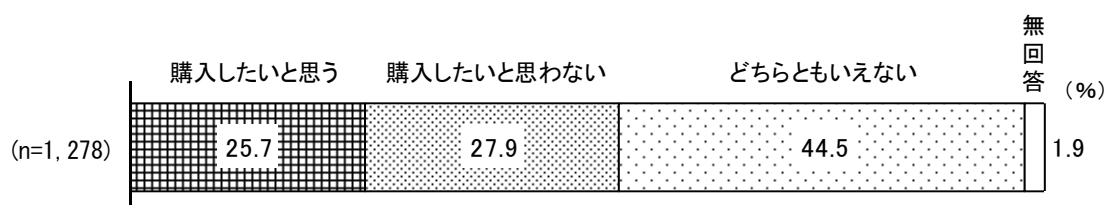
1 再生可能エネルギーを利用した電力の購入希望【問1】

【全体の状況】

多少値段が高くても再生可能エネルギーを利用した電力を購入したいと思うか尋ねたところ、「購入したいと思う」(25.7%)と「購入したいと思わない」(27.9%)がともに2割台であった。

(図表1-1-1)

図表1-1-1 再生可能エネルギーを利用した電力の購入希望



【地域別の状況】

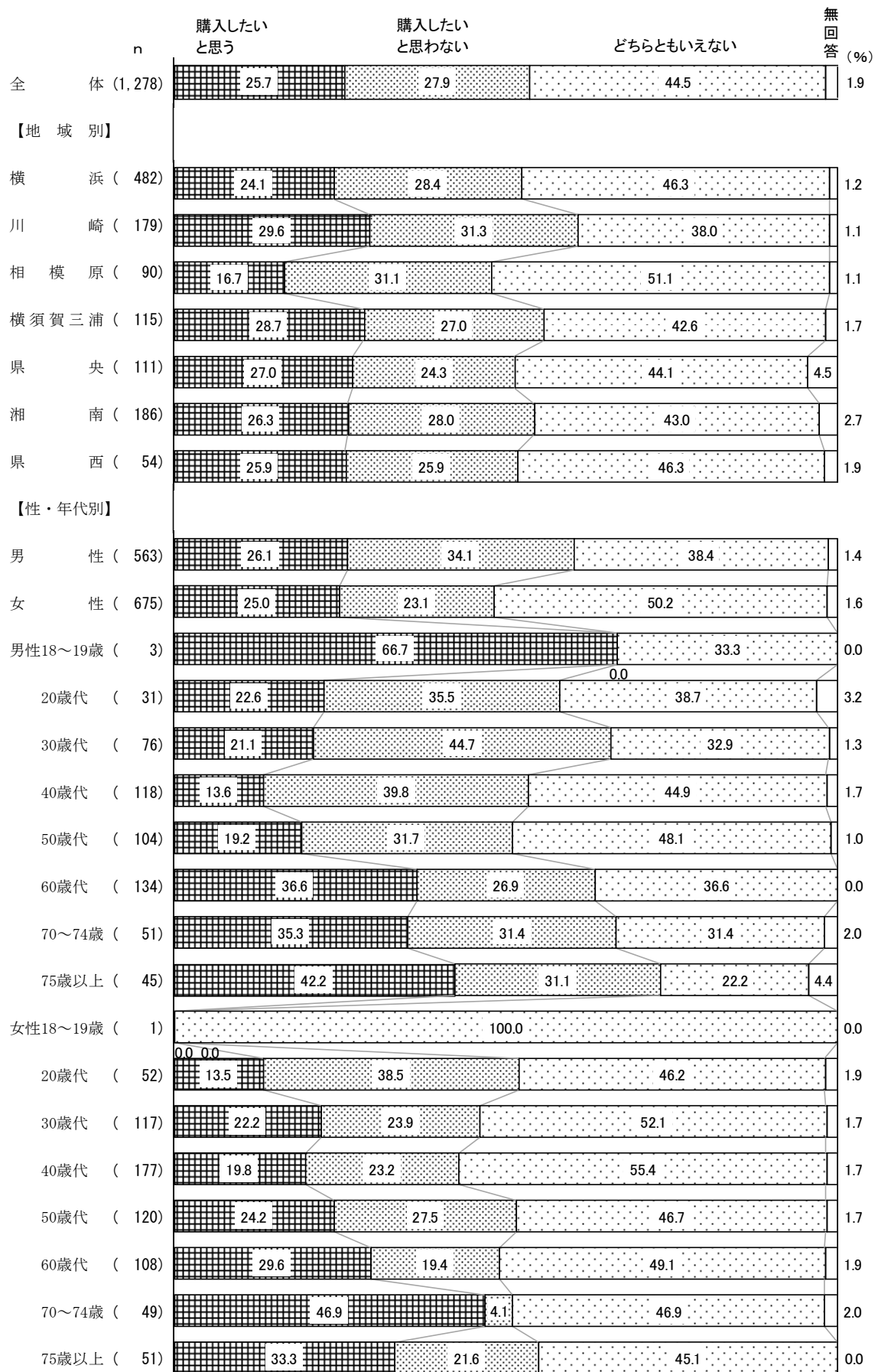
地域別にみると、「購入したいと思わない」は、川崎(31.3%)と相模原(31.1%)がともに約3割であった。また、「どちらともいえない」は相模原(51.1%)が約5割で最も多かった。(図表1-1-2)

【性・年代別の状況】

性別にみると、「購入したいと思わない」は、男性(34.1%)が女性(23.1%)を11.0ポイント上回った。

性・年代別にみると、サンプル数の少ない男女の18～19歳を除くと、「購入したいと思う」は、女性の70～74歳(46.9%)が4割台で最も多かった。「購入したいと思わない」は、男性の30歳代(44.7%)が4割台で最も多かった。(図表1-1-2)

図表1-1-2 再生可能エネルギーを利用した電力の購入希望－地域別、性・年代別



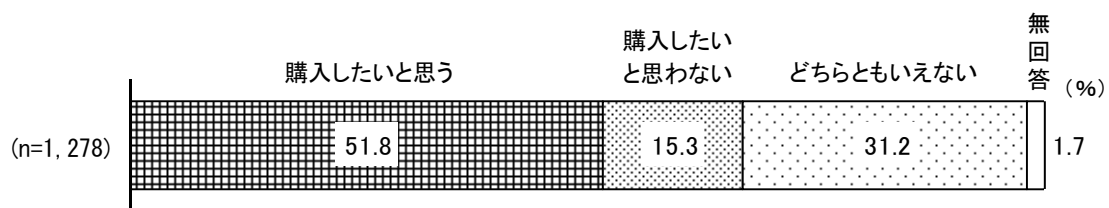
2 環境にやさしい方法で作られた農作物の購入希望【問2】

【全体の状況】

多少値段が高くても有機栽培など環境にやさしい方法で作られた農作物を購入したいと思うか尋ねたところ、「購入したいと思う」(51.8%)が約5割となった。

一方、「購入したいと思わない」(15.3%)は1割台であった。(図表1-2-1)

図表1-2-1 環境にやさしい方法で作られた農作物の購入希望



【地域別の状況】

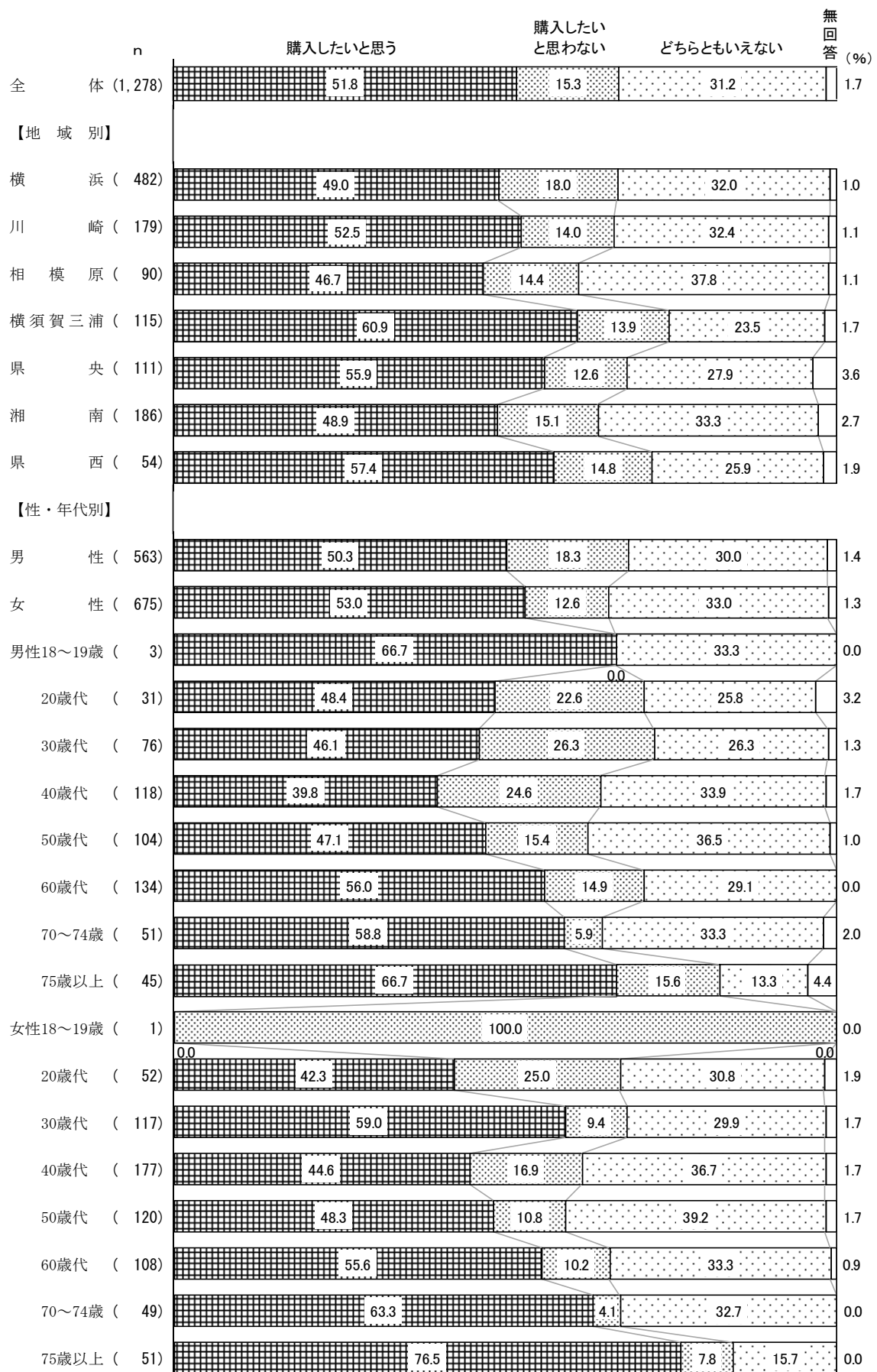
地域別にみると、「購入したいと思う」は、横須賀三浦(60.9%)が約6割で最も多く、県西(57.4%)、県央(55.9%)、川崎(52.5%)が5割台で続いた。一方、「購入したいと思わない」は、全地域で1割台であった。(図表1-2-2)

【性・年代別の状況】

性・年代別にみると、「購入したいと思う」は、サンプル数の少ない男女の18~19歳を除くと、女性の75歳以上(76.5%)が7割台で最も多かった。また、「購入したいと思わない」は、男性の30歳代(26.3%)が2割台で最も多く、女性の20歳代(25.0%)と男性の40歳代(24.6%)が続いた。

(図表1-2-2)

図表1-2-2 環境にやさしい方法で作られた農作物の購入希望－地域別、性・年代別



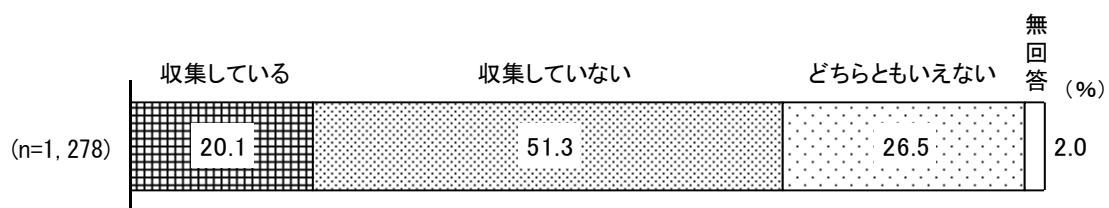
3 環境問題の情報収集の有無【問3】

【全体の状況】

興味のある環境問題について情報を収集しているか尋ねたところ、「収集している」(20.1%)は2割であった。

一方、「収集していない」(51.3%)は約5割となり、「収集していない」が「収集している」を31.2ポイント大きく上回った。(図表1-3-1)

図表1-3-1 環境問題の情報収集の有無



【地域別の状況】

地域別にみると、「収集している」は、県央(29.7%)が3割で最も多かった。

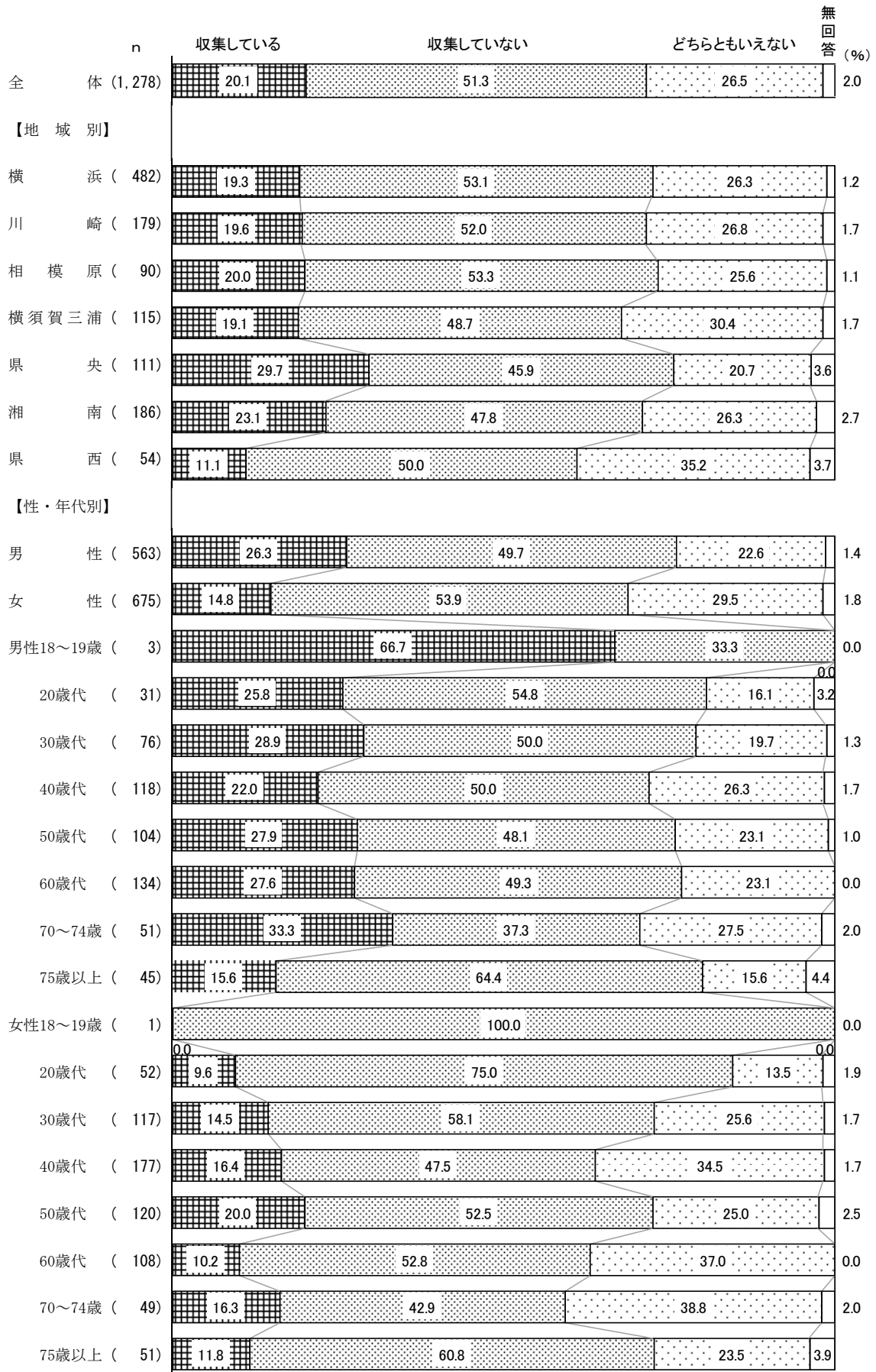
一方、「収集していない」は相模原(53.3%)が5割台で最も多く、横浜(53.1%)、川崎(52.0%)が続いた。(図表1-3-2)

【性・年代別の状況】

性別にみると、「収集している」は男性(26.3%)が女性(14.8%)を11.5ポイント上回った。

性・年代別にみると、「収集している」は、サンプル数の少ない男女の18~19歳を除くと、男性の70~74歳(33.3%)が3割台で最も多かった。「収集していない」は、サンプル数の少ない男女の18~19歳を除くと、女性の20歳代(75.0%)が7割台で最も多かった。(図表1-3-2)

図表1-3-2 環境問題の情報収集の有無—地域別、性・年代別



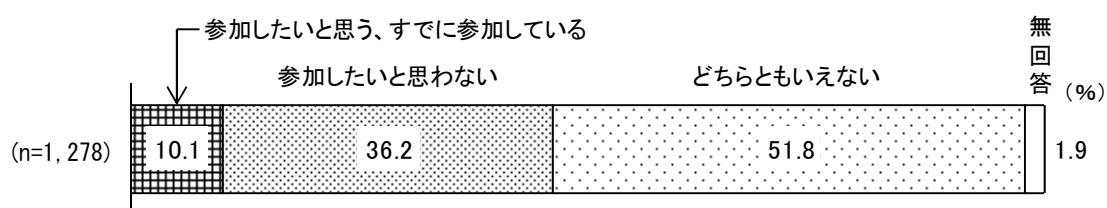
4 NPO等が行っている環境保全活動への参加希望【問4】

【全体の状況】

NPO等が行っている環境保全活動に参加したいと思うか尋ねたところ、「参加したいと思う、すでに参加している」(10.1%)が1割であった。

一方、「参加したいと思わない」(36.2%)は3割台であった。(図表1-4-1)

図表1-4-1 NPO等が行っている環境保全活動への参加希望



【地域別の状況】

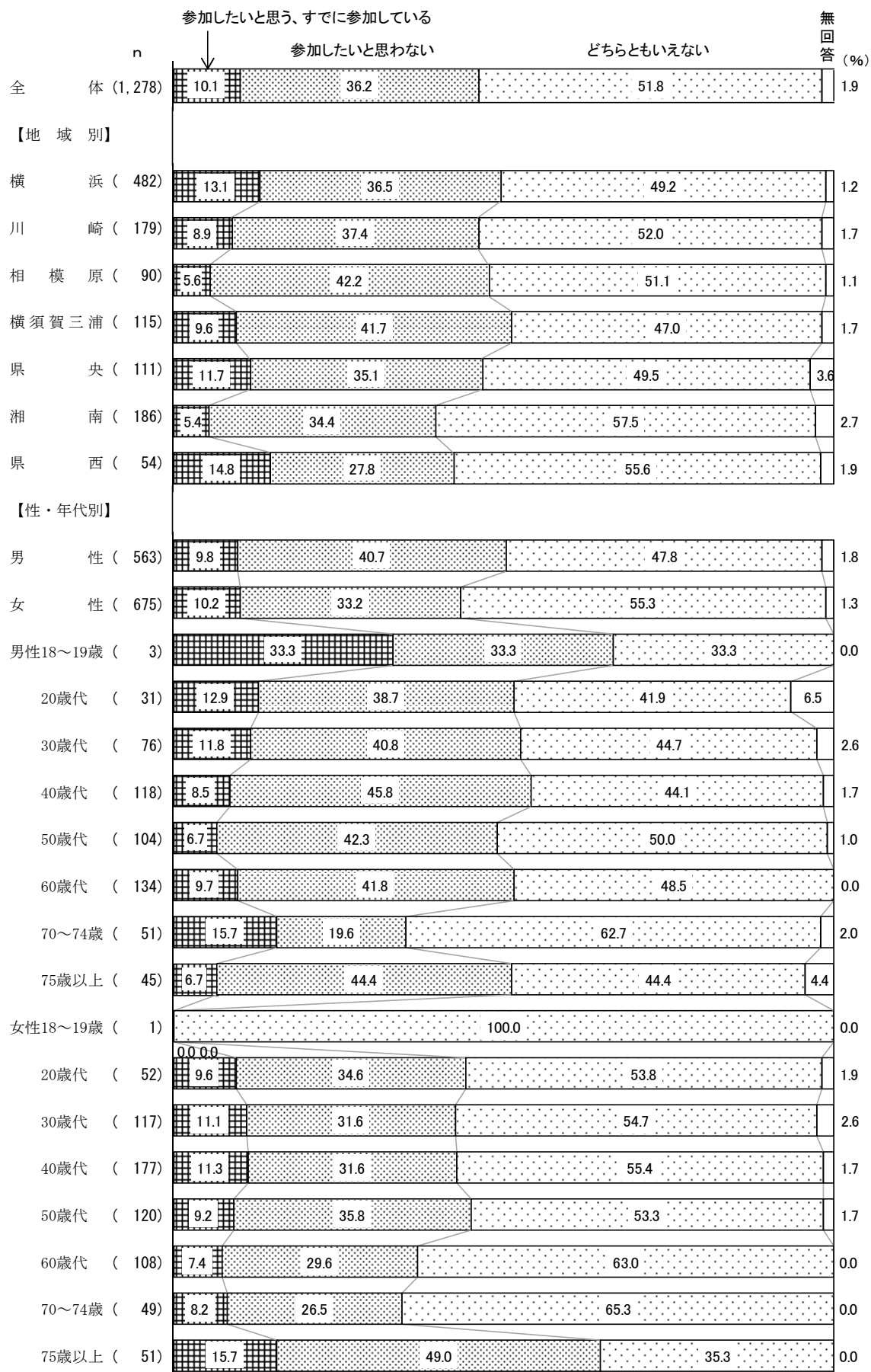
地域別にみると、「参加したいと思わない」は、相模原(42.2%)と横須賀三浦(41.7%)がともに4割を超えて多かった。(図表1-4-2)

【性・年代別の状況】

性別にみると、「参加したいと思わない」は、男性(40.7%)が女性(33.2%)を7.5ポイント上回った。

性・年代別にみると、「参加したいと思わない」は、女性の75歳以上(49.0%)が約5割で最も多かった。(図表1-4-2)

図表1-4-2 NPO等の行う環境保全活動への参加希望—地域別、性・年代別



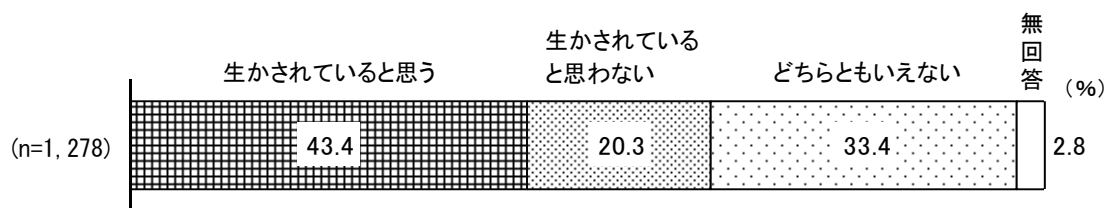
5 企業等が持つ技術力の環境問題解決への貢献【問5】

【全体の状況】

企業等の持つ技術力が、地球温暖化などの環境問題の解決に生かされていると思うか尋ねたところ、「生かされていると思う」（43.4%）が4割台であった。

一方、「生かされていると思わない」（20.3%）は2割であった。（図表1-5-1）

図表1-5-1 企業等が持つ技術力の環境問題解決への貢献



【地域別の状況】

地域別にみると、「生かされていると思う」は、県西（51.9%）が約5割で最も多かった。

一方、「生かされていると思わない」は、横須賀三浦（25.2%）が2割台で最も多かった。

（図表1-5-2）

【性・年代別の状況】

性別にみると、「生かされていると思う」は、男性（47.1%）が女性（41.0%）を6.1ポイント上回った。

性・年代別にみると、「生かされていると思う」は、サンプル数の少ない男女の18～19歳を除くと、男性の50歳代（54.8%）と女性の20歳代（53.8%）がともに5割台で多かった。（図表1-5-2）

図表1-5-2 企業等が持つ技術力の環境問題解決への貢献—地域別、性・年代別

